

譜面が紡ぐ物語をステキな音にのせて♪



楽団四季「Jolly forest Jazz orchestra」

おば た ゆう こ
芋 畑 悠 子 さん

「みの～れで演奏活動を
楽しんでいます！！」
と笑顔で話す芋畑さん。

みの～れと共に生活するスタイル

Minole Life
のすすめ

No.90

様々な方との 出合いに感謝!!

現在高校1年生の芋畑さん。音楽との出合いについて聞いてみると「初めて音楽に触れたのが小学校4年生の時です。小学校に合奏クラブがあって、そこに入りました。4年生の冬に楽器を決めて5、6年生の時の運動会に演奏を披露しました。「トランペットはカッコいいな!」と思って、それからずっと続けています」と芋畑さん。

水戸工業高校のブルビギナーズ(ジャズバンド部以下ブルビギ)に憧れて同校に入学した芋畑さんは「ブルビギは年に50回近く演奏会をやりませう。12月だけでも5回の演奏会があります。ブルビギとジャリフオレストジャズオーケストラ(以下ジャリフオレ)掛け持ちで大変な時もあるけど好きなことだから全然苦にならないですね」と笑顔で話してくれました。

「小学校6年生の時母から『行っ

池花池と遠州池に冬の使者の白鳥が飛来し、ゆっくりと羽根を休めています。ポインセチアやシクラメンの花は、寒い季節に彩りを添えてくれますね。今年も残りあとわずか・風邪などひきませないように。今回は、この紙面では歴代最年少、楽団四季ジャリフオレストジャズオーケストラの団員でトランペット担当。石岡市にお住いの芋畑悠子さんを取材します。

てみようか?』と言われて、さくらフェスティバルに連れてきてもらいました。そこでジャリフオレの演奏を聴いて「私も入りたいな!」って思いました。でも年齢的にジャリフオレには入れなくて・・・この時、みの～れに聞わっていた野手さんがたまたま声をかけてくれて、小美玉市にさくらくるドレミという音楽サークルがあることを知りました。現在ジャリフオレのメンバーで当時さくらくるドレミに所属していた方から声をかけてもらい、6年生からさくらくるドレミに入りました。あのときさくらフェスに来ていなければ・・・野手さんとお話していなければ・・・今はジャリフオレには入っていません。偶然の出合いをうれしそつに話してくれました。

「大人になっても音楽は趣味でずーっと続けていきたいですね。ジャリフオレには目標にしている方がいますし、続けて行きたいと思っています。いい人たちに巡りあえてよかったです。1月にはジャズアンサンブルワークショップがあります。私も昨年度のワークショップがきっかけでジャリフオレに関わるようになったので、中学生や高校生に参加してもらって、是非、ジャリフオレに入ってもらいたいなって思います」と可愛い笑顔が印象的でした。

今年の取材も12名のきらきらと輝きながら活動が続いている皆様と出会いました。お陰様で私もたくさん学ぶことが出来ました。また来年も素晴らしい出会いがありますように・・・

(藤田佐知子)